2026年11月10日

名大ワンゲル部
養成合宿反省会での挨拶

谷村 省吾

名古屋大学 体育会ワンダーフォーゲル部部長

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立大学機構
NAGOYA UNIVERSITY

言いたいことはこれに尽きる

- よいリーダーになってほしい。
- よいサブリーダーになってほしい。
- CL権を持っているからよいリーダーだというわけではない。
- パーティメンバーを率いて何かをすることの難しさと やりがいを知ってほしい。

一人ではできないことがある

- 一人でテント一式、調理道具一式、応急処置道具一式を持ち歩いて、サイト地に着いたら一人でテントを張って、一人で炊事して、朝一人でテントたたんでいたら息つく暇もない。
- 自分がものを忘れたら、自分がケガしたら、誰もフォローしてくれない。
- 登山のやり方を教えてくれる先輩がいなかったら、持って行くべき装備も、道に迷ったときの対処法もわからない。

大勢で山に行くと

- 持ち物や役割を分担できる。
- しかし、メンバー全員が、同等の知識・経験を持っているわけではない。
- 全員で相談している暇もない。
- 誰かがリーダーになって、全体の方針を決める必要がある。
- リーダーは、プランを考える、メンバーの体力や体調を観察して調整する、緊急時の対応を決めるなどしなくてはならない。

リーダーの苦しみ

- 人は、思ったように動いてくれない。
  （遅いやつ、忘れ物するやつ、やる気を失うやつが出てくる。自分も疲れてくる）
- 現場では事前調査どおりではないことが起こる。
  （道に迷う、崩落で道が消失している、病気、落石・滑落・転倒、風雨、川の増水、毒ヘビ・クマ・ヒル・ハチ）

私が遭った出来事（1/2）

- 現役ワンゲル部員３年生のとき、錬成合宿中、疲れた１年生が「もう、ここに置いて行ってください！」と言い出す。
- 「いやいや、ワンゲルはそういうもんじゃないんだ。お前一人じゃ道もわかんないだろ？ 危ないからみんなで登るんだ」と言い聞かせる。

私が遭った出来事（2/2）

- 現役ワンゲル部員１年生のとき、立山で稜線を歩いていたら、パーティの一人の足元の岩（直径１メートルくらい）がぐらついて落石。
- 100メートルくらい直下を中学生らしき生徒50人くらいの行列が歩いていて、「落石！逃げろー！」と上から叫んで、よけてもらった。
- 人に当たらなかったからよかったようなものの、もし当たっていたら無事ではすまなかった。

事故の種類

- 自然に起きてしまう事故（滑落・転倒・病気・ヘビなど）
- 人災（火器故障による火災）
- 人に危害を与えてしまう事故（落石加害）

事故の予防

防げる事故は防いでいこう。あらかじめいろいろな可能性を考えて、可能性の高いリスクと、可能性は低くても被害が甚大なリスクは抑えよう。病気やケガなど、対処の仕方がわかっていることは、薬を用意しておいたり応急処置の学んで練習しておこう。火器やテントは故障・破損してないかチェックしよう。トレーニングして体力つけよう。CLでなくても、やれることをやっていこう。

ワンゲルはいいものだよ

- 大人になると、友達はあまりできない。
  職場の同僚や職員など知り合いは増えるけども、
  本音を言える相手は なかなかいない。
  同じ学部の友達や、同じ研究分野の知り合いは
  増えるけど、みんな似てくる。
- ワンゲルは、つきあいが必然的に濃厚。山行中は飽きるほど一緒にいる。学部の異なる友達もできる。

私のワンゲル仲間

山崎仁朗（やまざき・きみあき）

私のワンゲル同期。
文学部。夏合宿長をやった。
２年生のときの夏合宿は私と南アルプスの並走パーティ。



写真は２年生の夏の東北サイクリング（仙台～青森、下北半島の大間崎）

そんな山崎だが

- 山崎は５１歳で亡くなった。上顎洞がん
- あんな屈強な奴が、あんないい奴が死んでしまうなんて信じられない。
- まだまだやりたいことがいっぱいあったはず。
- 無念だったと思う。
- 50前後で、ぼちぼち死ぬ奴が出て来る。
- 私は、昔 部室があった場所を通って通勤しているので、毎朝、ワンゲルのことを思い出す。

君たちに言いたいこと（1/2）

- 精一杯、頑張れ。
- 大切なことを後回しにするな。
- いつ死んでもいい、とまでは言わんが、いつ死ぬとしても後悔の少ないように、やってくれ。
- 今を楽しむことも大事だが、「やつはいいものを残してくれた」と思われるようなことをしてほしい。

君たちに言いたいこと（2/2）

- 養成合宿、頑張れよ。
- 君らは今しかできないことをやっている。
- 養成合宿も、錬成合宿も、夏合宿も、君らを成長させる。
- いい先輩になってくれ。

注意事項

- 登山計画書は、きちんと書け、しめきりを守れ。
- とくに大学事務（学生支援課 課外活動係）への連絡遅れ・連絡不達のないように。
- 名本は、下山報告を必ずその日のうちに部長と名大事務にメール連絡すること。
- 体育会事務局との連絡も同様。
- （お願い）大学卒業したら、ＯＢ会に入って、ＯＢ会費払ってね。

おしまい

君たちへの応援歌と文化伝承のつもりで

時間があれば歌おうと思っていたが、今回は時間切れ、割愛。

旅鳥

うるわしき山河　　輝く雲の果て
はるかな想いに　　こころむすびて
ひたかけ渡れ　　わが故郷
われら名おいし　　ワンダーフォーゲル

https://www.youtube.com/watch?v=tbO9VBTIBKM

（私たちが歌っていたときは、もっと力強く歌っていました。少し音階も違う気がします。）

ChatGPTによる解釈

うるわしき山河　　輝く雲の果て
はるかな想いに　　こころむすびて
ひたかけ渡れ　　わが故郷
われら名おいし　　ワンダーフォーゲル

美しい山河よ。輝く雲の彼方へ向かって、
私たちは遥かな思いに心を結び合わせる。
旅鳥のように、ひたすら翔け渡ってゆけ、
わが故郷の空と山河を。
私たちは、その名を誇りとして担う者、
ワンダーフォーゲル（渡り鳥・旅鳥）である。